

2024 年度 大学院春季入試（日本文学専攻）

博士課程（前期）

専門科目 古典文学/近現代文学/文学史

【合否判定の方法】

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2024 年 2 月 16 日

2 科目 (100 点満点)

3 出題意図

【1】古典文学

比較的平易な文章を問題文として、読解力を問う問題を出題している。

問 1 は問題文冒頭部分が正しく読み取れているかが問われている。

問 2 から問 4 は現代語訳の問題であるが、基本単語や古典文法、副詞の呼応などがしっかり理解できているかが問われている。同時に、指示語の内容を明らかにして現代語訳せよ、という問いは、文脈がしっかり読み取れているかが鍵になる。単に、一文を訳すだけでなく、その前後の文脈もしっかり読解できているかがポイントになる。

全体に、古文解釈の基本知識を身につけ、文脈がしっかり読み取れているかが問われているので、平素より、長目の古文を読んで慣れておくことが必要である。

【2】近・現代文学

文学史的に重要な作品の冒頭部を示し、どの程度作品に親しんでいるかを見るとともに、作品に関する知識や、表現・技法・文体などに対する分析力を確認する。

【3】作文問題

大学院日本文学専攻の授業を履修するに足る、日本文学史の基本的知識の確認を目的とする。

※著作権の関係で過去問題の掲載はできない。

以上